

**2026年度も引き続きETC専用の入口を拡大します  
～通行止めを伴う料金所のリニューアル工事を順次実施～**

首都高速道路株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：寺山 徹）は、2025年5月25日から料金所リニューアル工事を順次開始したところですが、2026年度には新たに44箇所（累計134箇所）がETC専用になります。お客さまには、工事に伴い一時的なご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

1. 概要

- ・ETC専用入口の拡大に向けて更新時期を迎えた料金所のリニューアル工事を順次実施し、工事完了後は無人化されたETC専用の入口として運用します。
- ・首都高速道路におけるETC利用率（98.7%：2025年11月）や運用開始した無人化されたETC専用の入口を順調に運用できていることを踏まえ、2026年3月末時点の90箇所（予定）に加え、2026年度は44箇所（累計134箇所）の入口がETC専用になります。
- ・リニューアル工事の状況を踏まえ、2028年春までに本線料金所などの一部を除き入口にある料金所のETC専用化を目指してまいります。
- ・ETC専用になることで、ETC車と現金車の錯綜、停車・発進の繰り返しが削減されて安全性と快適性が向上し、さらに収受業務の省力化による将来の管理コストの縮減も期待されます。
- ・ETC専用化の拡大と合わせ、本線料金所のより円滑な利用のあり方に係る検討を進めてきましたが、4号新宿線の永福本線料金所を対象に、料金収受に伴う加減速を解消し、スマートな高速道路利用を実現するため、2026年度からの具体的な計画・設計に向け、調整を進めます。
- ・引き続きETC専用化を推進し、業務の効率化に努めてまいります。

2. 2026年度ETC専用化工事対象料金所

ETC専用の料金所位置図（別紙1）のとおり

3. 工事時期

入口通行止めを伴う料金所のリニューアル工事を順次実施します。工事期間（箇所別）等の詳細は後日改めてHP等でお知らせします。

4. 関連資料

- ・ETC専用の料金所位置図（別紙1）
- ・首都高速道路をETC専用（別紙2）
- ・中央道と接続する永福本線料金所の撤去（別紙3）

記者発表クラブ 国土交通記者会 国土交通省建設専門紙記者会

お問い合わせ先

首都高速道路株式会社

経営企画部

広報課

TEL 03-3539-9257

# ETC専用の料金所(134箇所)

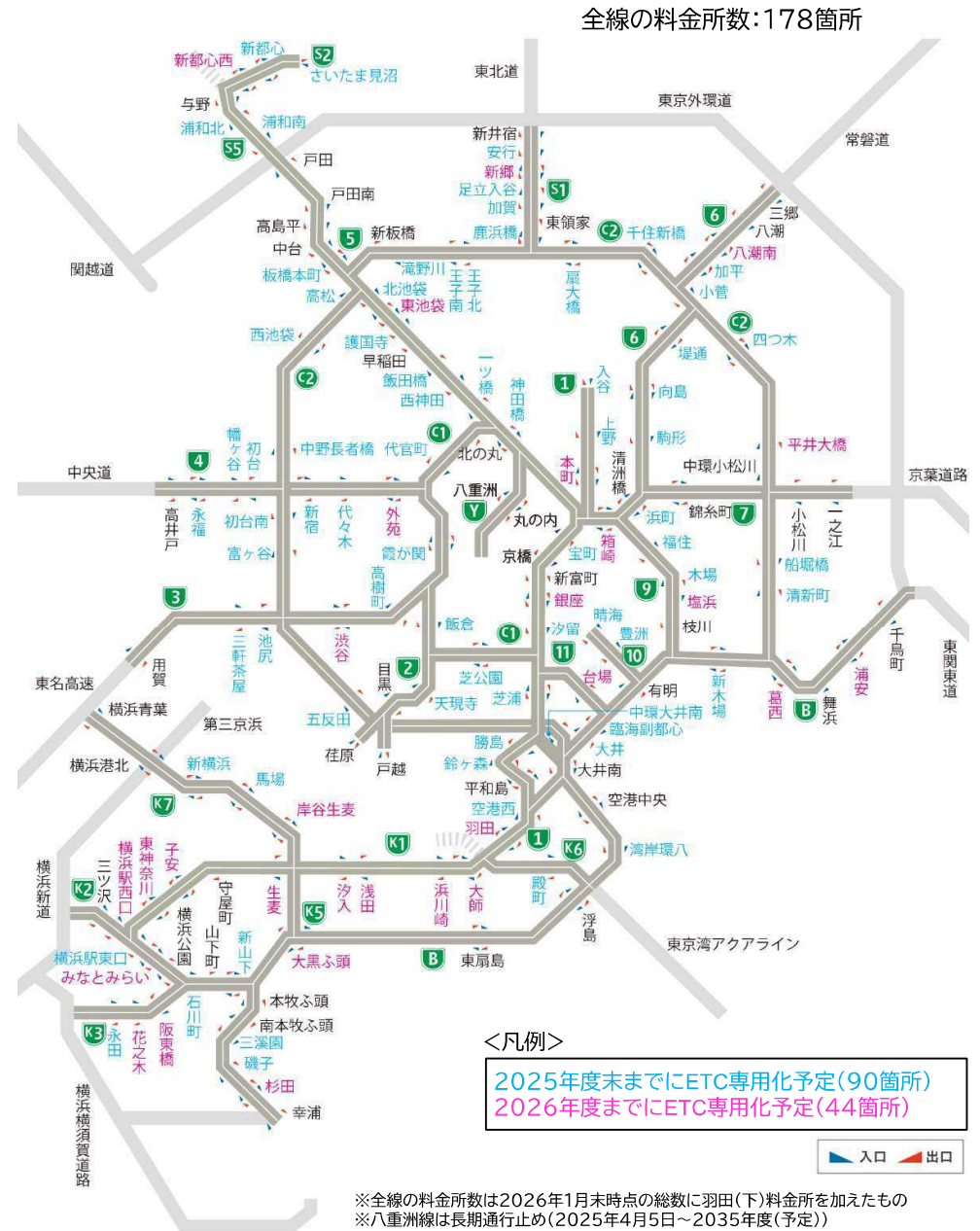
別紙1

2025年度末までに専用化予定(90箇所)

2026年度に専用化予定(44箇所)

料金所	
都心環状線	宝町、銀座(外)、汐留、芝公園(内)(外)、飯倉、霞が関(内)(外)、代官町、神田橋(内)(外)
1号上野線	本町(上)(下)、上野、北上野[入谷]
1号羽田線	芝浦(上)(下)、鈴ヶ森、勝島、空港西、羽田(上)(下)
2号目黒線	天現寺
3号渋谷線	高樹町、渋谷(上)(下)、池尻、三軒茶屋
4号新宿線	外苑(上)(下)、代々木、新宿、初台、幡ヶ谷、永福(上)
5号池袋線	一ツ橋、西神田、飯田橋、護国寺、東池袋、北池袋、板橋本町(上)(下)
6号向島線	箱崎、浜町、駒形、向島(上)(下)、堤通(上)(下)
6号三郷線	加平(南)(北)、八潮南(上)(下)
9号深川線	福住、木場、塩浜
10号晴海線	豊洲、晴海
11号台場線	台場
中央環状線	中環大井南、五反田、富ヶ谷、初台南、中野長者橋、西池袋、高松、滝野川、王子南、王子北、扇大橋(内)(外)、千住新橋(内)(外)、小菅、四つ木(内)(外)、平井大橋、船堀橋、清新町
川口線	鹿浜橋(上)(下)、加賀、足立入谷、新郷(上)(下)、安行
埼玉新都心線	新都心西(上)(下)、新都心(上)(下)、さいたま見沼
埼玉大宮線	浦和南(上)、浦和北
湾岸線	湾岸環八、臨海副都心、大井、新木場(西)(東)、葛西(西)(東)、浦安(西)(東)、杉田(西)(東)、磯子、三溪園、大黒ふ頭
神奈川1号横羽線	大師(上)(下)、浜川崎、浅田、汐入、生麦、子安(上)(下)、東神奈川(上)(下)、横浜駅東口、みなとみらい(上)(下)
神奈川2号三ツ沢線	横浜駅西口
神奈川3号狩場線	石川町、阪東橋、花之木、永田、新山下(上)(下)
神奈川6号川崎線	殿町
神奈川7号横浜北線	岸谷生麦(上)(下)、新横浜(上)(下)、馬場

※最新の情報についてはホームページ([https://www.shutoko.jp/ss/etc\\_only\\_no\\_cash/](https://www.shutoko.jp/ss/etc_only_no_cash/))にてご確認ください。



# 首都高速道路を ETC専用

別紙2

首都高全料金所(178箇所)のうち、2026年度に新たに44箇所(累計134箇所)がETC専用になります。

2022年度

35箇所

2025年度

90箇所

2026年度

134箇所

2028年春までに  
本線料金所などの一部を除き  
入口にある料金所のETC専用化

※導入後の運用状況、ETCの普及状況及び関係機関との協議等により、予定変更する場合があります。

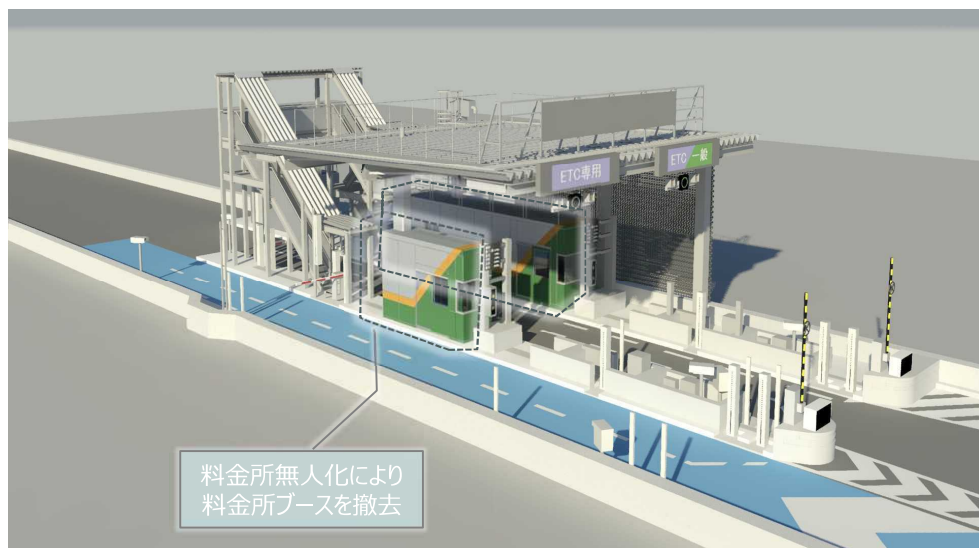
料金所リニューアル工事を順次開始し、工事完了後はETC専用入口として運用を開始します。

## 新しい料金所の特徴

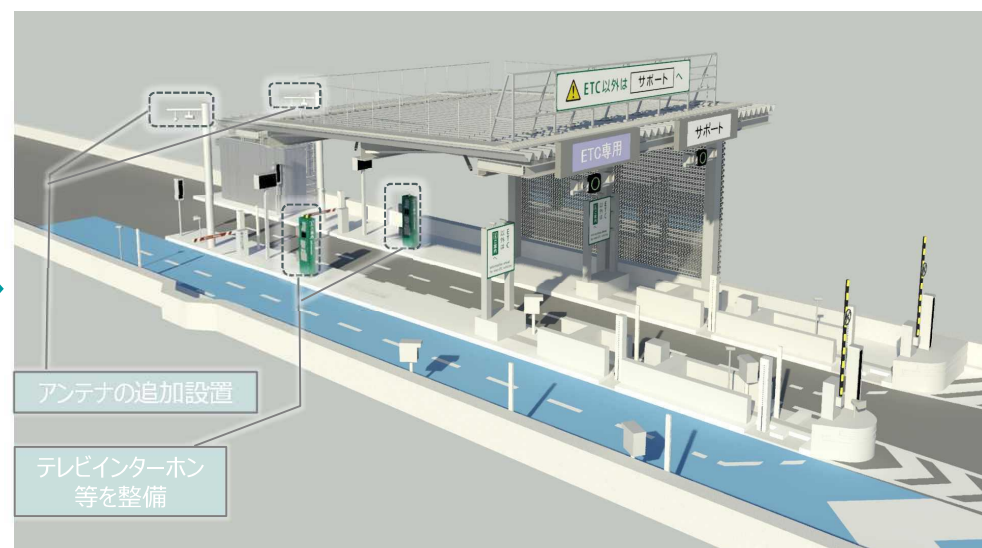
- ・ETC機器のリニューアルにより、レーン閉鎖機会が減少します
- ・料金所無人化※1に伴い、テレビインターホン等を整備し、安定したサービスを継続します
- ・ETCカードの挿し忘れ等で車両停止したお客さまには、追加設置したアンテナで通信処理します※2

※1 ETC専用運用開始後、持続可能な料金所を実現するため、料金所は無人化します。

※2 遠隔地からETCカード挿入のご案内・通信処理するため、インターホン・アンテナを追加設置します。



現 在



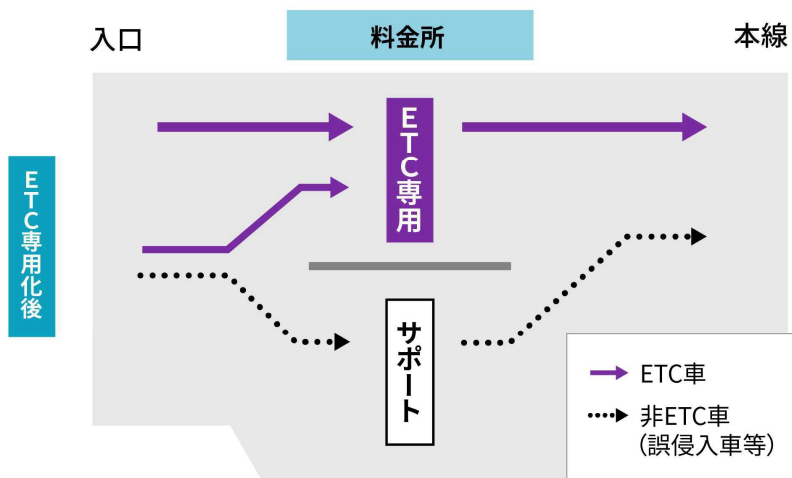
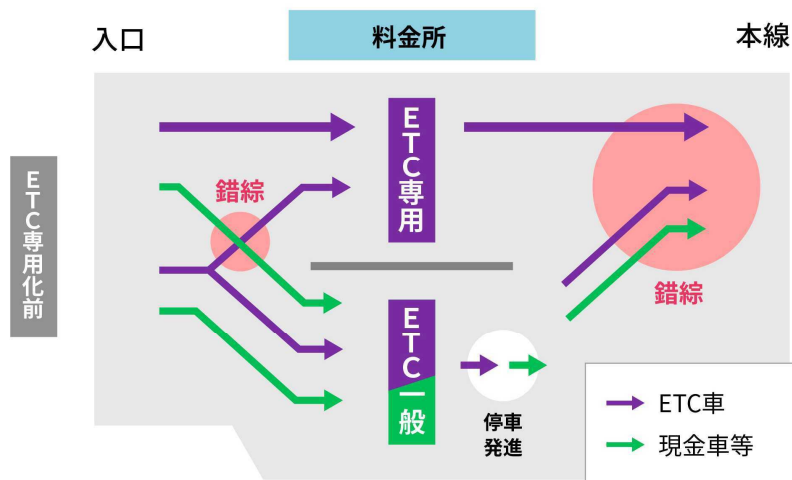
新しい料金所イメージ

※ETC専用の料金所はETC車載器を搭載していない車両はご利用になれません。

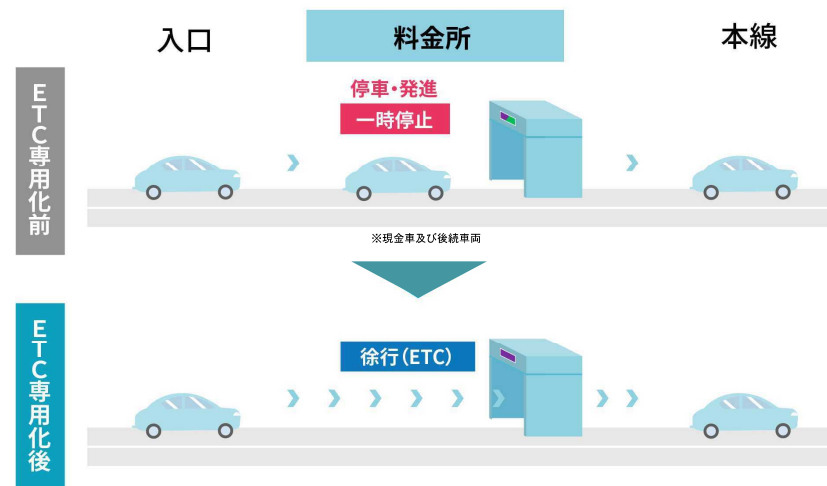
※万が一、ETC無線通行ができない状態(ETC車載器未搭載等)で誤ってETC専用の入口に進入した場合は、危険なためバックせず、「サポート」または「ETC/サポート」と表示されたレーンで一旦停車し、係員の指示に従ってください。

## 料金所がETC専用になると

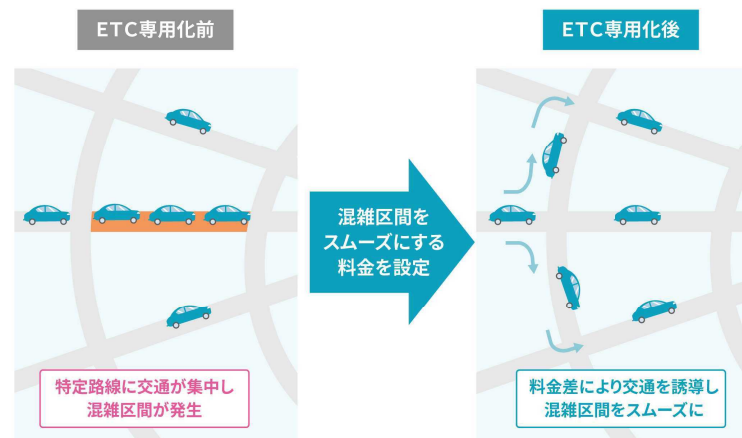
ETC車と現金車の錯綜、停車・発進の繰り返しが削減され、安全性と快適性が向上します。



ストップ＆ゴーの解消によりスムーズな走行が可能になり、環境が改善します。



空いている時間帯や経路の割引等の柔軟な料金設定により、お客さまの混雑区間でのご利用がスムーズになります。



## 中央道と接続する永福本線料金所の撤去

- ・ 安全性と快適性の向上を目指した本線上の料金所撤去を見据え、ETC専用化の推進とともに本線上の料金所のより円滑な利用のあり方に係る検討を進めてまいりました。
- ・ このたび、他路線と接続する本線上の料金所撤去のモデルケースとして、4号新宿線の永福本線料金所を対象に、料金収受に伴う加減速を解消し、スマートな高速道路利用を実現するため、2026年度からの具体的な計画・設計に向け、調整を進めます。
- ・ 現時点での計画では、本線上の料金所施設(ブース等)を撤去してETC専用レーンとする一方、現金でお支払いのお客さまには永福パーキングエリア(PA)側の料金所をご利用いただく形態を想定しております。
- ・ 上記のご利用形態や工事時期については現時点では未確定であり、関係機関との協議等のうえ、詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。

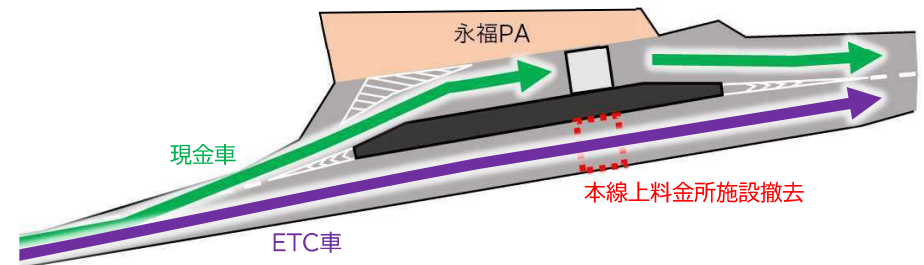
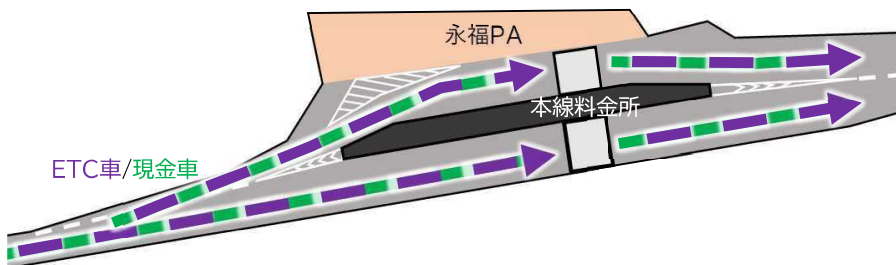
現在



本線上料金所施設撤去後(イメージ)



- 現金でお支払いのお客さまは、永福PA側の料金所をご利用ください。
- 永福PAはETC車もご利用いただけます。通行料金は料金所にてETCでのお支払いが可能です。



※ 上記内容、イメージについては現時点では未確定であり、関係機関との協議等のうえ決定